記者発表資料

平成２７年　１月１３日
東 北 地 方 整 備 局

入札監視委員会第二部会第３回定例会議（１２月２日）の審議概要について

～抽出案件５件を審議、意見の具申・勧告はなし～

平成２６年度東北地方整備局入札監視委員会第二部会第３回定例会議が、１２月２日（火）、東北地方整備局で開催されましたので、その審議概要（別紙）についてお知らせします。

議事では、委員により抽出された案件５件の審議が行われ、委員からの意見の具申・勧告事項はありませんでした。

〈発表記者会：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会〉

問 い 合 わ せ 先	
国土交通省　東北地方整備局 仙台市青葉区花京院一丁目１番２０号	TEL (022)716-0013（ダイヤルイン）
契 約 管 理 官	加賀谷（かがや）　浩（ひろし）（内線６２２１）
経理調達課課長補佐	佐藤（さとう）　浩正（ひろまさ）（内線６５５４）

東北地方整備局　入札監視委員会（第二部会）第３回定例会議審議概要

開催日及び場所	平成２６年１２月　２日（火）　東北地方整備局会議室		
委員	部会長　齊藤　幸治　（弁護士） 部会長代理　高橋　敏彦　（東北工業大学工学部教授） 委　員　是川　晴彦　（山形大学人文学部教授）		
審議対象期間	平成２６年　７月　１日～平成２６年　９月３０日		
総審議案件	５件	〈備考〉 （１）工事、建設コンサルタント業務等、役務の提供等及び物品の製造等の発注状況 （２）指名停止措置の運用状況 （３）談合情報等の対応状況及び談合疑義事実の該当事案 （４）再度入札における一位不動状況 （５）低入札価格調査制度調査対象工事の発生状況について報告を行った。	
工事 一般競争（WTO対象）	１件		
工事 一般競争（WTO対象外）	２件		
工事 工事希望型競争	０件		
工事 工事希望型以外の指名競争入札	０件		
工事 随意契約	０件		
建設コンサルタント業務等	１件		
役務の提供等及び物品の製造等	１件		
	意見・質問	回　答	
委員からの意見・質問、それに対する回答等	別紙のとおり	別紙のとおり	
委員会による意見の具申又は勧告の内容	本日の審議結果について、意見の具申又は勧告事項はありません。		

東北地方整備局　入札監視委員会（第二部会）第３回定例会議審議概要

審　議　案　件　　工　事　概　要　書

	入札・契約方式	工　事　名	工事種別	契約金額 （単位：千円）	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数
1	一般競争 （ＷＴＯ対象）	久慈港湾口地区防波堤本体工事（その２）	港湾土木	603,720	3者	3者
2	一般競争 （ＷＴＯ対象外）	秋田港外港地区防波堤（第二南）本体工事	港湾土木	191 160	3者	3者
3	一般競争 （ＷＴＯ対象外）	能代港外港地区防波堤（第二北）本体外工事	港湾土木	82,080	1者	1者

審議案件　建設コンサルタント業務等概要書

	入札・契約方式	業　務　名	業務区分	契約金額 （単位：千円）	手続きへの参加資格及び業務実施上の条件を満たす参加表明書の提出者数	入札参加者数
4	簡易公募型 プロポーザル	東北の復興を牽引する港湾のあり方検討業務	建設コンサルタント等	19,980	1者	1者

審議案件　役務の提供等及び物品の製造等概要書

	入札・契約方式	業　務　名	業務分類	契約金額 （単位：千円）	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数
6	一般競争	東北地方整備局外車両管理業務（その２）	役務の提供等	10,796	4者	4者

別　紙

NO. 1

	意見・質問	回　　答
1-1	定例報告 「対象期間における発注案件について」 ・特になし。	
1-2	定例報告 「指名停止措置の運用状況」 ・7月23日の逮捕を受け指名停止となっているが、どの時点で指名停止をするのか、逮捕のほかどのような方法で事実確認を行うのか。	・確認して報告します。
1-3	定例報告 「談合情報等の対応状況及び談合疑義事実の該当事案」 ・特になし。	
1-4	定例報告 「工事種別ごとの再度入札における一位不動状況」 ・特になし。	
1-5	定例報告 「工事種別ごとの低入札価格調査制度調査対象工事の発生状況」 ・特になし。	
2-1	審議 「久慈港湾口地区防波堤本体工事（その２）」 ・無効の者が２者いるが、無効になった理由は。 ・資料提出が行われないのが一般的という印象だが、提出しなかった理由については、確認しているか。 ・加算点が低いことが調査に協力しない理由ではないのか。 ・どういうポイントで評価するか示しているのか。 ・加算点は業者側でだいたい分かるのか。 ・客観点数が高いところが、加算点が高いが、それが一般的か。 ・客観点数が低くても、加算点が高いという例もあるのか。	・調査基準価格未満での応札であったことから、施工体制確認のための追加資料を要請しましたが、その資料提出を辞退したためです。 ・追加資料の作成が困難なことが辞退理由と思われます。 ・加算点については入札確定後の公表であり公表前には加算点が低いかどうか分からないようになっています。 ・入札説明書に記載してあります。 ・配置予定技術者の評価についてはだいたい分かると思いますが、個々の提案については分からないようになっています。 ・客観点数と加算点は別です。大きく見ると相関性があるかもしれませんが、客観点数が高いところが加算点が高いと言うわけではありません。 ・あると思います。

	意見・質問	回　　答
2-2	審議 「秋田港外港地区防波堤（第二南）本体工事」	
	・落札率が高い理由は。	・本工事は、見積参考資料（金抜き設計書）及び資材単価等を開示していることや、過去の同種工事の積算内訳も公表されていることから、比較的精度の高い積算が可能であったと推察されます。 　また本工事は、価格以外の要素と価格を総合的に評価して落札者を決定する総合評価落札方式を採用しております。評価の結果、最低価格の者ではなく、2番目に安かった者が落札しておりますので、結果として落札率が高くなったものです。最低入札価格の者が落札したとすれば、落札率は94.84%になります。
	・最低価格の業者の評価点が低いが実際どのような点に着目して評価したのか。	・海上打継ぎ作業全般について配慮すべき施工方策としており、例えばコンクリートの品質確保方策等の提案を想定して記載しています。 　最低価格の業者は３項目記載できるところを１項目しか記載しておりませんでした。また落札した業者は３項目記載しています。
	・コンクリートの品質確保とはコンクリート強度のことか。	・そのとおりです。冬季風浪の対策等についての堤案も評価対象となります。
	・提案内容については、公表するのか。	・公表しておりません。
	・全体的な技術力向上のためには、提案内容を公表した方が良いと思うが。	・公表すると同じような表現になり点数差がつかなくなることや、各社独自のノウハウもあるので、公表はしておりません。
	・提案したことができなかった場合はどうなるのか。	・提案したことについては、必ず行うように公告に記載しています。また出来なかった場合は、完成検査で評定点が下がります。
	・なぜ３項目書けるのに１項目しか書いてこなかったのか。	・業者の判断と思われます。
	・業者は３項目書いた方が有利と知っているのか。	・知っていると思います。
	・１項目で落札している例はあるのか。	・配点上、可能なシステムになっております。
2-3	審議 「能代港外港地区防波堤（第二北）本体外工事」	
	・秋田は太平洋側と比べ参加業者が多かったはずだが、今回１者応札となった理由は。	・結果として配置予定技術者の確保ができなかったことから、一者応札になったと思われます。
	・定例化している工事内容で、予定価格が読みやすいと思われるが、落札率が高い理由は。	・見積参考資料（金抜き設計書）及び資材単価等を開示していることや、過去の同種工事の積算内訳も公表されていることから、比較的精度の高い積算が可能であったと推察されます。
	・見積参考資料というのはどのようなものか。	・工種毎のボリュームが記載してあり、公表されている単価をかければ、金額がある程度わかるようになっています。
2-4	審議 「東北の復興を牽引する港湾のあり方検討業務」	
	・１者応札の理由は。	・入札説明資料をダウンロードし参加表明しなかった者にヒアリングしたところ、技術者不足で実施体制が整わない、東北の現状を理解していないので難しいとの理由でした。

	意見・質問	回　　答
	・技術提案の〆切と見積書の〆切はどのような関係になっているのか。	・技術提案で特定した業者に見積書提出日時を記載した決定通知を出し、電子入札システムで見積合わせを行います。
	・概算予算額は税抜きで提示するのか。	・概算予算額は税込みで提示しており、見積額は税抜きです。
	・プロポーザルに応じて仕様内容を変更し、概算予算額を変えたのだから通知すべきでは。	・提案と一緒に見積書が出てきており、仕様書は変更しているが、実施が担保されていると考えられることから通知していません。
	・参考見積書の額を上回る金額で見積書を提出することがあるのか。	・あります。
2-5	審議 「東北地方整備局外車両管理業務（その２）」	
	・落札率がずいぶん低いが理由は。	・業界内で価格競争が激しいものと受け止めております。国土交通省全体の全国平均の落札率は平成２３年度５４．１％、平成２４年度は５９．５％となっております。全国的に落札率が低い傾向にあります。
	・ほとんどが人件費だと思うが。	・そのとおりです。
	・社会保険への加入等を確認しているのか。	・低入札価格調査を実施し、人件費については宮城県の最低賃金を上回っておりますし、社会保険への加入も確認しております。
	・運転手がいる前提での応札なのか。	・従業員を確保してから入札に参加していると思われます。
	・問題無く業務は行われているのか。	・行われています。
	・勤務時間はどうなっているのか。	・当局職員と同じです。
	・人件費に地域差はあるのか。	・積算をするときには地域ごとの単価で積算しております。
		以　　上